

# 兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 11 号)

2022年 1月21日発行  
 兵庫のみ研究所

前回 (1/16) 調査と同様に、海域全般に小型珪藻のスケルトネマとキートセロスが、依然として多く確認されています。上げ始めでの調査ということもあり、窒素は陸水等の影響が見られた地点と明石海峡部からの海水の影響が見られた地点を除き、海域全体で  $1 \mu\text{g-at/L}$  以下の値でした。

(水温) 漁場内平均  $9.5^{\circ}\text{C}$ 。平年比  $0.4^{\circ}\text{C}$  低く、昨年比  $0.5^{\circ}\text{C}$  高い。(塩分) 平均  $31.55\text{psu}$ 。前回 (31.67) より  $0.12\text{psu}$  低い。

(栄養塩、珪藻) 明石海峡部周辺を除き、海域全体でスケルトネマを主体として、キートセロスやデトヌラ等が多く確認された。スケルトネマの海水  $1\text{mL}$  あたり細胞数は、明石海峡部周辺で  $100\sim 800$  細胞 (前回値:  $400\sim 1500$  細胞)、林崎漁場以西で  $1800\sim 2900$  細胞 (前回値:  $2500\sim 4500$  細胞)、伊保白浜漁場では、地先で  $2200$  細胞前後 (前回値:  $4500\sim 8500$  細胞) であった。スケルトネマの発生量はやや減少していたが、キートセロスの発生量が増加している地点も見られ、海域全体として栄養塩を消費する珪藻類の発生量は大きく変化していない。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	10.3	9.5	9.9	9.0
窒素	2.2	0.9	3.6	1.1
リン	0.35	0.28	0.40	0.27

(1/16)

(1/20)

※窒素の平均は別府を除く  
 ※窒素の平均は別府を除く

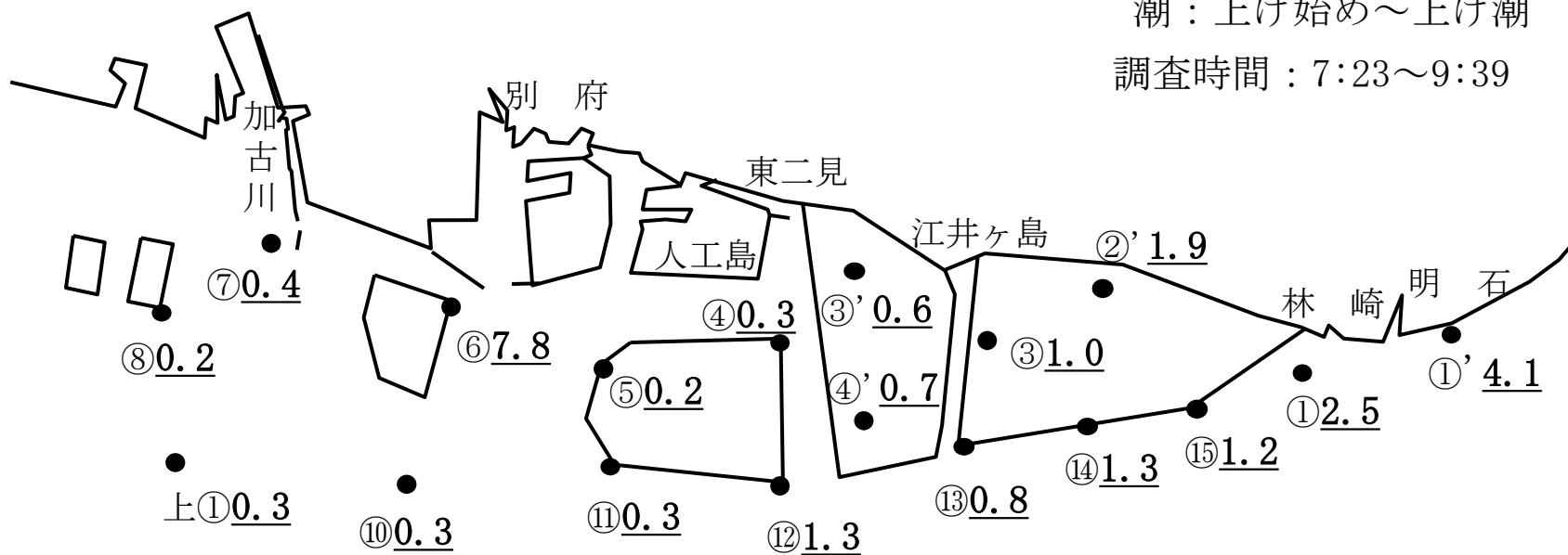
西播地先					
伊保 地	水温	$9.2^{\circ}\text{C}$	伊保 沖	水温	$9.3^{\circ}\text{C}$
	窒素	0.3		窒素	0.3
	リン	0.30		リン	0.29
白浜 地	水温	$9.4^{\circ}\text{C}$	白浜 沖	水温	$9.5^{\circ}\text{C}$
	窒素	0.3		窒素	0.4
	リン	0.31		リン	0.34

2022年 1月21日調査

## 栄養塩 (窒素) 図

潮：上げ始め～上げ潮

調査時間：7:23～9:39



## 水温図

